

第2期伯耆町子ども・子育て支援事業計画（素案・案）修正・追記箇所一覧

<素案からの修正>

●元号（年号）の修正

2019年度末や2019年5月1日以降に係る元号表記を「平成31年（H31）」から「令和元年（R1）」に修正しました。

頁	修正前	修正後
p1	1. 計画策定の趣旨 (前文略) この計画が平成31年度末をもって終了することから、(以下略)	1. 計画策定の趣旨 (前文略) この計画が令和元年度末をもって終了することから、(以下略)
p7	■ 小学校の児童生徒数の推移 計画期間中の児童生徒数は、平成27年度と平成31年度とを比較すると、(以下略)	■ 小学校の児童生徒数の推移 計画期間中の児童生徒数は、平成27年度と令和元年度とを比較すると、(以下略)
p7	<学校別> 施設名 (略) H31	<学校別> 施設名 (略) R1
p8	<学年別> 学年 (略) H31	<学年別> 学年 (略) R1

●グラフの単位の追記

単位表記がもれていたグラフがありましたので、単位を追記しました。

頁	グラフ名	修正等の内容
P2	(2)世帯数の推移	グラフ右側の縦軸の単位「(人)」を追加
P4	(6)婚姻数・婚姻率	グラフ右側の縦軸の単位「(件)」を追加
P4	(7)離婚数・離婚率	グラフ右側の縦軸の単位「(件)」を追加
P4	(8)共働き世帯の状況	グラフ左側の縦軸の単位「(世帯)」を追加
P5	(9)計画期間中の児童数の見込み	・表の単位「(単位:人)」を追加 ・階層別集計(4年齢区分)のグラフ左側の縦軸の単位「(人)」を追加

●数値の訂正

数値の誤りを修正しました。(第2回会議で口頭訂正したもの)

頁	修正前	修正後
P9	(4)放課後子供教室の状況 ■開催状況 H27 (略) 岸本 申込者数 31人 (略)	(4)放課後子供教室の状況 ■開催状況 H27 (略) 岸本 申込者数 24人 (略)

- 第2章中「3. アンケート調査結果」の最終頁（P21）に以下の文章を追記しました。

<アンケートを通して>

子育てが楽しいと感じたり、伯耆町は子育てしやすいまちと感じる人が多い一方で、子育てに負担を感じたり、子育てに関する悩みを抱えている人も多くいるという結果になりました。また、「話し相手や相談相手がいない」「配偶者の協力が少ない」など、地域や家庭の中で孤立感を感じている保護者も見られます。

保護者が負担や不安を抱え込むことがないように、妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目のない支援や、親同士の交流や地域の支援者とのつながりの中で、孤立感を感じることなく、喜びを感じながら子育てできるように、地域全体で子育てを支えていくことが求められています。

- 第2章中「4. 子ども・子育てをめぐる現状と課題」に、町独自の現状・課題を追記しました。

修正前	修正後
<p>4. 子ども・子育てをめぐる現状と課題</p> <p>近年、核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、(中略)支援や協力を得ることが困難な状況となっています。(略)</p> <p>以上のような子どもの育ちや子育てをめぐる環境に鑑みれば、(中略)行政や地域社会を始め社会全体で支援していくことが必要です。こうした取組みを通じて、全ての子どもの健やかな育ちを実現する必要があります。(国の基本指針より抜粋)</p>	<p>4. 子ども・子育てをめぐる現状と課題</p> <p><u><国全体の現状・課題></u></p> <p>近年、核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、(中略)支援や協力を得ることが困難な状況となっています。(略)</p> <p>以上のような子どもの育ちや子育てをめぐる環境に鑑みれば、(中略)行政や地域社会を始め社会全体で支援していくことが必要です。こうした取組みを通じて、全ての子どもの健やかな育ちを実現する必要があります。(国の基本指針より抜粋)</p> <p><u><町独自の現状・課題></u></p> <p><u>町全体の人口は、減少を続けていますが、アパートの増加等による子育て世帯の転入等によって、年少人口は増減を繰り返しており、今後も大きな減少はないと見込んでいます。そうした中、共働き世帯は増加し、母親の就労形態にも変化が見られるなど、保育ニーズはさらに高まり、多様化すると考えられます。また、経済的な理由等によって育児休業から早期に復職する母親が多く、低年齢児の保育ニーズ増加の一因となっています。提供体制の確保と地域の実情にあった施策の展開が必要です。</u></p>

●各事業概要（説明文）の修正

事業の概要の説明文の一部を修正しました。

頁	事業名	修正前	修正後	説明
P30	放課後子供教室	放課後や夏休み等の子どもの安心・安全な活動場所を確保するため、（以下略）	放課後の子どもの安心・安全な活動場所を確保するため、（以下略）	会議意見による修正
P35	給食費の負担軽減	学校給食費を1食あたり100円補助していません。	学校給食費を1食あたり100円補助し、経済的負担の軽減と児童生徒の健全な発達を図ります。	事業目的を追記

●取り組む主な施策・事業の追加

会議意見を踏まえ、以下の施策・事業を追加しました。

第4章 施策の展開

2. 子育てに喜びを感じることでできるまちづくり

(5) 経済的な支援の充実 (P35)

施策・事業	概要	担当課
就学援助金の支給	経済的理由によって就学が困難な児童生徒を対象に、学用品費や給食費等の一部を助成し、経済的負担の軽減と教育の機会均等を図ります。	教育委員会

3. 地域全体で子ども・子育てを支えるまちづくり

(1) 地域の子育て支援機能の充実 (P36)

施策・事業	概要	担当課
家庭教育支援事業	親の育ちを応援する学習機会の提供と、支援ネットワークの体制づくりを行い、学校・家庭・地域が連携した活動を促進し、親子と地域を結び取り組みを推進します。	教育委員会

●その他

・小学生の学年を2分類する場合の表記を修正しました。（会議意見による）

頁	修正前	修正後
P16,17,28,29	低学年	下学年
	高学年	上学年

- 会議意見を踏まえ、第5章（P38）を以下のとおり修正しました。

（1. 推進体制を全部修正、3. 計画全体の成果指標を追加）

修正前	修正後						
<p>第5章 計画の推進に向けて</p> <p>1. 推進体制</p> <p><u>本計画の推進にあたっては、基本理念である「子どもと親と地域がともに育ちあうまち伯耆町」の実現を目指して、家庭や地域、行政などが子育て支援の重要性を共有し、それぞれが連携を図りながら子育て支援に関する取り組みを行うことにより、子どもの育ちと子育てを社会全体で支援していきます。</u></p> <p>2. 計画の進行管理 （変更なしのため、全文省略）</p>	<p>第5章 計画の推進に向けて</p> <p>1. 推進体制</p> <p><u>この計画を実効性のあるものとするためには、行政や子育て支援関係者だけでなく、家庭や地域、企業、団体などの様々な主体が協働・連携し、施策や事業を展開していく必要があります。町民一人ひとりが、子育てへの関心や子育て支援の重要性に対する理解を深め、町全体で子育てを支援する体制（土台）が作られるよう、以下の取り組みを進めます。</u></p> <p><u><情報提供・周知></u></p> <p><u>町の広報紙やホームページをはじめとする各種媒体を積極的に活用し、町民全体に対して適切な情報提供を行い、子ども・子育て支援施策に関する周知を図ります。</u></p> <p><u><当事者意識の醸成></u></p> <p><u>“町民一人ひとりが子育て支援の担い手である”という意識の醸成を図るため、計画の周知や子育て支援に関する啓発に努めます。</u></p> <p><u><関係機関の連携強化></u></p> <p><u>各事業の効果的で円滑な実施に向け、既存のネットワークの活用等による関係機関の連携強化に努めます。</u></p> <p>※イメージは省略</p> <p>2. 計画の進行管理 （変更なしのため、全文省略）</p> <p>3. 計画全体の成果指標</p> <p><u>各施策・事業に関する成果とは別に、計画全体の達成度合いを判断する目安として、計画の最終年である令和6年度を目標年次に、成果指標（達成目標）を設定し計画を推進します。</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">成果指標</th> <th style="text-align: center;">令和元年度</th> <th style="text-align: center;">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><u>伯耆町は「子育てしやすいまち」と感じる人の割合</u></td> <td style="text-align: center;">36.4%</td> <td style="text-align: center;">40.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>※基準値となる令和元年度の数値は、令和元年7月に実施した子育てに関するアンケート調査で「そう思う」と答えた人の割合</u></p>	成果指標	令和元年度	令和6年度	<u>伯耆町は「子育てしやすいまち」と感じる人の割合</u>	36.4%	40.0%
成果指標	令和元年度	令和6年度					
<u>伯耆町は「子育てしやすいまち」と感じる人の割合</u>	36.4%	40.0%					

＜前回案（パブリックコメント用）からの修正＞

パブリックコメントによる計画案の修正はありませんが、以下は、事務局で案を再度見直した結果、追加で修正した箇所です。なお、下記のほか、誤字・脱字、書体の統一、文字の位置ずれ等の内容には直接影響のない修正を行っています。

●第4章 施策の展開

「量の見込みと確保の方策」で、時点や単位が明記されていない事業がありましたので、注記等を追加しました。

頁	事業	追加した注記等
P27	教育・保育（1号～3号）の量の見込み	（欄外に記載） ※「量の見込み」は各年度の3月1日時点を見込んでいます
P28	放課後児童クラブの量の見込み	（欄外に記載） ※「量の見込み」は各年度の4月1日時点を見込んでいます
P33	時間外保育事業の量の見込み	①量の見込み <u>（年間利用実人員）</u>

●第2章 町の状況等

「2. 教育・保育事業等の状況」で記載した以下の事業の説明文を修正しました。

頁	修正前	修正後
P9	（7）養育支援訪問事業の状況 町の保健師による訪問のほか、専門的支援を外部委託しています。	（7）養育支援訪問事業の状況 町の保健師による訪問のほか、専門的支援を外部委託し、 <u>養育に関する指導、助言等の支援を行っています。</u>
P11	（11）子育て世代包括支援センター（平成29年度～）の状況 妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行うため、平成29年4月に新たに「 <u>伯耆町子育て世代包括支援センター</u> 」を設置しました。	（11）子育て世代包括支援センター（平成29年度～）の状況 妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行うため、平成29年4月に <u>健康対策課内に</u> 「 <u>伯耆町子育て世代包括支援センター</u> 」を設置しました。